政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2015年２月27日～３月12日） 五十嵐 敬喜：三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社執行役員調査本部長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向		良くなっている	緩やかな持ち直しが続いている。物価上昇率の縮小が続いていることで、実質ベースで見た家計の所得の改善（前年比マイナス幅の縮小）につながっている。株価の上昇も、資産効果と心理効果の両面で個人消費に好影響を与えており、雇用情勢が良好な状態を維持していることも同様である。輸出が増加基調に転じ、生産が持ち直していることも景況感を改善させている。 前年との違いとしては、原油価格など国際商品市況の下落が交易条件の改善につながっていることが大きい。輸入由来の物価上昇が消費税率の引き上げも加わって景気を下押ししてきたが、輸入価格の下落が状況を大きく改善させている。
1	2015年３月上旬から中旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年12月上旬から中旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		
経済の好循環実現に向けた取組について		－	収益が拡大しているのに企業が賃金の引き上げや雇用の拡大に踏み切れないとすれば、それは自信のなさや企業自身の成長戦略の弱さに起因している可能性が高い。そうした中では、「経済の好循環の継続に向けた政労使の取組」のフォローアップはそれなりの成果を出すことが期待できる。 しかし、より根本的な改善に向けては企業経営者の意識改革が求められるわけで、成功例の積極的な共有化が必要だろう。
２－１	足下の企業収益の拡大が速やかに賃金上昇や雇用拡大につながり、更なる消費や投資の拡大に結び付くためにとるべき対応について、具体的なお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。		
２－２	好循環が生まれ始めている一方、非正規労働者や中小企業等への波及が重要との指摘もございます。そうした観点から強化すべき取組について、お考えがございましたら300字以内でご記入ください。	－	非正規労働者や中小企業に好循環が及んでいないとすれば、それはパイの拡大自体が不十分だからなのか、好循環が及ぶのはこれからだという時間の問題なのか、パイの分配がそもそも不公平だという問題なのかを見極める必要がある。それを踏まえた上で、優越的地位の濫用といった問題があれば厳しく是正する必要がある。